

## 1. 法人運営について

### ◎役員状況

#### ①現員数（平成25年3月31日現在）

理事 7名  
監事 2名

#### ②異動状況

就任又は退任年月日	就任	退任
平成25年 4月 1日	理事6名 監事2名	
平成25年 7月31日		監事1名
平成26年 1月29日	理事1名 監事1名	
平成26年 2月28日		監事1名
平成26年 3月 1日	監事1名	

### ◎理事会の開催状況

- ・第1回（平成25年 4月 1日 14:30～14:50）  
議案：①理事長選任について
- ・第2回（平成25年 5月30日 14:00～15:00）  
議案：①基本財産の変更及び財産の処分並びに定款の一部変更について  
②平成24年度社会福祉法人ウエルハート厚生会事業報告及び  
収支決算について
- ・第3回（平成25年11月16日 10:30～11:10）  
議案：①社会福祉法人ウエルハート厚生会役員の就任及び交代並びに  
定款の一部変更について  
②社会福祉法人ウエルハート厚生会理事長の職務の代理について  
③特別養護老人ホームウエルハート明和施設長の交代について  
④基本財産の変更及び財産の処分並びに定款の一部変更について  
⑤社会福祉法人ウエルハート厚生会経理規程の一部変更について
- ・第4回（平成26年 2月22日 10:30～12:10）  
議案：①平成25年度補正予算について  
②経理規程について  
③預り金管理費用について  
④新規事業（短期入所生活介護）について  
⑤役員の交代について  
⑥入院時における居室料金について  
報告：①福祉サービス第三者委員（苦情相談委員）について

・第5回（平成26年 3月29日 10:30～12:10）

議案：①預り金管理費用について

②平成26年度特別養護老人ホームウエルハート明和事業計画（案）について

③平成26年度予算（案）について

報告：①介護報酬改定について

②併設型ユニット型短期入所生活介護費について

③ウエルハート大学校について

◎監事監査

日時：平成25年 5月30日

内容：平成24年度決算及び事業報告についての監査

◎その他

・平成25年 8月12日 資産変更登記（資産総額 270,237,087 円）

・平成25年 8月 7日 三重県に社会福祉法人現況報告書提出

・平成25年 7月19日 三重県による社会福祉法人施設指導監査

指導監査結果

（改善事項）なし

- （指導事項）
1. 基本財産について財産処分承認及び定款変更の手続きを行うこと。
  2. 職務代理者について、任期ごとに理事会で議決すること。
  3. 監事監査報告書について、県に報告すること。  
また、現況報告書について、会計年度終了後3ヶ月以内に県に提出すること。
  4. 資産総額の変更の登記について、事業年度終了後2ヶ月以内に行うこと。
  5. 苦情解決の仕組みについて、苦情解決に社会性や客観性を確保し、利用者の立場や特性に配慮した適切な対応を推進するため、第三者委員を設置すること。
  6. 経理規程について、第5条第4項にサービス区分として本部及び特別養護老人ホームウエルハート明和を追加すること。
  7. 財産目録について、資産及び負債を詳細に表示すること。
  8. 衛生推進者について、衛生推進者養成講習を受講した職員を選任すること。

2. 職員の状況

①職員体制

職種	平成25年4月1日現在	平成26年3月31日現在
施設長	1名（常勤）	1名（常勤）
事務長	1名（常勤）	1名（常勤）
介護支援専門員	1名（常勤）	1名（常勤）
生活相談員	1名（常勤）	（介護支援専門員が兼務）
看護職員	3名（常勤）	4名（常勤）
機能訓練士	1名（常勤）	1名（常勤）
介護職員	24名（常勤） 2名（非常勤） （常勤換算 25.0名）	29名（常勤） 4名（非常勤） （常勤換算 31.2名）
管理栄養士	1名	1名
業務特命監	1名	1名
事務員	1名（常勤） 3名（非常勤）	1名（常勤） 2名（非常勤）

宿直員	3名 (非常勤)	3名 (非常勤)
清掃員	3名 (非常勤)	3名 (非常勤)
合計	常勤35名 非常勤10名	常勤40名 非常勤12名

②採用・退職等の状況

日付	採用	退職
平成25年 4月 8日	看護職員 1名 (常勤)	
平成25年 5月 1日	介護職員 2名 (非常勤)	
平成25年 5月13日	介護職員 2名 (常勤)	
	介護職員 1名 (非常勤)	
	事務職員 1名 (常勤)	
平成25年 5月24日		事務職員 1名 (非常勤)
平成25年 7月 1日	介護職員 1名 (常勤)	
平成25年 7月15日	介護職員 1名 (常勤)	
平成25年 7月28日	介護職員 1名 (非常勤)	
平成25年 7月31日		介護職員 4名 (常勤)
		介護職員 1名 (非常勤)
		看護職員 1名 (常勤)
平成25年 8月 1日	介護職員 1名 (常勤)	
平成25年 8月 3日	介護職員 1名 (常勤)	
平成25年 8月 5日	介護職員 1名 (常勤)	
平成25年 8月31日		介護職員 1名 (常勤)
		介護職員 1名 (非常勤)
		事務職員 1名 (常勤)
平成25年 9月 1日	介護職員 2名 (常勤)	
平成25年 9月12日	介護職員 1名 (非常勤)	
平成25年 9月15日		介護職員 1名 (常勤)
平成25年10月 9日	介護職員 1名 (常勤)	
平成25年11月 1日	介護職員 1名 (常勤)	
	介護職員 1名 (非常勤)	
平成25年11月15日		介護職員 1名 (非常勤)
平成25年11月30日		施設長 1名
		介護職員 2名 (常勤)
		介護職員 1名 (非常勤)
平成25年12月 1日	施設長 1名	
平成25年12月11日	介護職員 1名 (常勤)	
平成26年 1月 1日	看護職員 1名 (常勤)	
平成26年 1月 5日		介護職員 1名 (常勤)
平成26年 1月 6日	介護職員 1名 (常勤)	
平成26年 2月28日		介護職員 1名 (常勤)
平成26年 3月 1日	介護職員 1名 (常勤)	
平成26年 3月31日		看護職員 1名 (常勤)
合計	常勤18名 非常勤 6名	常勤14名 非常勤 5名

注) 開設時の採用は除いています。

### 3. 入居者の状況

表1 入居者数及び退居者数・稼働率

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居者数	26名	46名	59名	60名								
稼働率	20.6%	58.4%	85.3%	98.5%	96.1%	93.2%	94.6%	95.4%	96.8%	96.2%	96.9%	97.2%
退居者数	0名	2名	0名	1名	0名	2名	1名	2名	1名	3名	0名	0名

- ・退居理由の内訳は、医療機関への入院が10名、他施設への転居が1名、吸痰が常時必要な状態になられたため療養病棟に転院された方が1名となっている。
- ・年間平均稼働率は85.7%。7月より入居者数は60名と満床になり、7月以降の年間平均稼働率は96.1%であった。状態の悪化により入院される方が相次ぎ、入院による年間の空室延べ日数は555日に上った。
- ・退居者が出てから次の入居者が入るまでは最短で翌日、最長では5日となっている。

表2 入居者の要介護状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要介護1										1	1	1
要介護2				1		1	3	3	3	2	3	3
要介護3	3	9	12	12	14	12	13	14	13	15	16	16
要介護4	16	27	31	31	30	30	26	24	26	25	27	27
要介護5	9	12	16	16	16	17	16	19	17	17	13	13
平均	4.21	4.06	4.06	4.03	4.03	4.05	3.81	3.98	3.96	3.91	3.80	3.80

- ・入居時は要介護4、5の介護度であったが、更新申請後には要介護2、3になる方が増加する傾向となっている。そのため、平均介護度も3.80となっている。

#### 4. 施設運営について（事業の内容及び評価）

##### ◎25年度の重点目標について

重点目標として以下の項目を重視し、日々の事業運営に取り組んだ。

##### ①『のんびり・一緒に・楽しみながら』を理念のもと

- ・介護支援専門員を中心としたサービス担当者会議を幾度と開催し、個別ケアを行い、その方なりの生活を尊重した。
- ・余暇活動ではウェルハート大学校を設立した。地域住民とふれ合いながら、定例学習会や歌謡クラブ、囲碁クラブを行うことで、笑みを失っていた入居者も笑みを回復することができた。
- ・レクリエーションの一環として、カラオケの機械を購入し、生きがいと楽しみを持った日常生活を送っていただいた。
- ・四季に応じた行事としては、明和町斎宮歴史博物館にお花見に出かけた。年末年始にかけては、クリスマスや忘年会、新年ならではのカルタや書初めを行い、和やかなひとときを過ごしていただいた。
- ・施設の閉鎖的環境の緩和を感じていただくため、歌謡ショー、よさこい踊り、近隣児童による歌や劇等を鑑賞いただいた。

##### ②入居者様個々の嗜好・体質に配慮した食事の提供を目指した。

- ・玄米、菜食を取り入れ手作りの食事サービスを提供した。
- ・行事食を提供し四季折々の食事を楽しんでいただいた。

##### ③運営会議、職員会議の開催。

- ・運営会議を毎月開催し、運営全般について協議した。
- ・各種会議、委員会を行い、伝達事項・処遇統一・業務推進上の協議を目的とした会議を開催した。

##### ④関係機関との連携。

- ・入居者様のご家族、地域住民、明和町役場、明和町包括支援センター、ボランティア等との連携を深め業務の円滑化を図った。

##### ⑤リハビリ活動。

- ・個別ケアを行うことで機能訓練に効果が表れた。その結果として、入居者様の要介護状況にも変化が現れた。

##### ⑥防災対策。

- ・安全、安心に生活できるよう、転倒防止、設備等の安全管理を行い、整理整頓及び環境整備に努めた。また、年に2回は入居者様参加のもと防災訓練を行った。

##### ◎食事について 行事食の提供

5月	5月 5日（子どもの日）	間食…ケーキ
7月	7月 7日（七夕）	昼食…七夕そうめん
	7月22日（土用の丑）	昼食…ひつまぶし
9月	9月16日（敬老の日）	昼食…赤飯、天ぷら、刺身等
12月	12月22日（冬至）	夕食…南瓜煮
	12月24日（クリスマス）	昼食…エビピラフ、鶏肉照り煮等
	12月31日（年越し）	夕食…年越しそば
1月	1月 1日（正月）	昼食…赤飯、おせち料理
2月	2月 3日（節分）	夕食…いわし団子汁
3月	3月 3日（ひなまつり）	昼食…散らし寿司等

◎職員研修について  
施設内勉強会の記録

日付	議題
平成25年 4月26日	災害危機管理について
平成25年 5月21日	感染症予防対策
平成25年 6月21日	認知症の方への対応。褥瘡予防について。
平成25年 7月30日	高齢者の脱水症対策と傾向補水療法
平成25年 8月22日	心肺蘇生法と心得。古武術の理合いを介護に生かす方法。
平成25年 9月30日	身体拘束について
平成25年10月31日	ノロウイルスとインフルエンザ感染について
平成25年11月26日	価値観について
平成25年12月20日	認知症ケアについて
平成26年 1月21日	入居者様の生活の質の向上を目指すには
1月30日	同上
平成26年 2月10日	介護現場における記録の意義
2月17日	同上
平成26年 3月 4日	紙おむつの特長、基本的なことについて
3月 5日	同上

◎施設外研修の参加記録

日付	研修名	主催者	参加者
平成25年6月27日	介護保険と 栄養ケアマネジメント	三重県福祉栄養士会	管理栄養士
平成25年8月22日	栄養ケアマネジメントの 演習	三重県福祉栄養士会	管理栄養士
平成25年9月 5日	キャリアアップ	若者チャレンジ	介護職員2名
平成25年9月13日	キャリアアップ	若者チャレンジ	介護職員2名
平成25年9月19日	給食施設管理者研修	三重県健康福祉部 健康づくり課	管理栄養士
平成25年9月26日	介護支援専門員 資質向上研修	三重県	介護支援専門員
平成25年10月17日	アレルギー食 嚥下治療食について	三重県福祉栄養士会	管理栄養士
平成25年12月11日	社会福祉法人 新会計基準について	税理士 黒田幹雄氏	事務長
平成25年12月12日	災害時の給食対応に ついて	三重県健康福祉部 健康づくり課	管理栄養士
平成25年1月30日	栄養ケア・アセスメント 計画と栄養士との関わり	三重県健康福祉部 健康づくり課	管理栄養士
平成26年2月21日	高齢者の口腔ケア	三重県健康福祉部 健康づくり課	介護職員
平成26年3月10日	地域栄養管理ネットワーク 研究会	松阪保健所	管理栄養士

## ◎防災計画について

### 消防訓練の実施

平成25年11月29日	第1回火災防災訓練（消防署立ち会いあり）
平成26年3月12日	第2回火災防災訓練（消防署立ち会いあり）

## ◎施設内の保守管理について

### 定期点検、定期清掃の記録

厨房グリストラップ清掃	平成25年7月、10月、平成26年3月
消防用設備点検	平成25年11月、平成26年3月
電気工作物点検	平成25年4月、6月、10月、12月、平成26年2月
飲料水貯水槽清掃	平成26年3月
浄化槽保守点検	平成25年4月～毎月

## ◎職員の健康管理について

### 定期健康診断の実施

夜勤従事者対象	平成25年10月8日～10月29日
全職員対象	平成26年3月12日～3月20日

## ◎総括

本施設の基本理念である『のんびり・一緒に・楽しみながら』の理念のもと、入居者様にとって、安心して快適に生活することができるユニットケアを目指した。ウェルハート大学校では、地域の方々との継続的な交流により、ふれ合いを通して入居者様の楽しみや生きがいを得られた。

その一方、入居者様の入院が相次いだため、稼働率を押し下げる減収要因となった。

また、職員の退職が相次ぎ、定着させることができなかった。しかし、介護福祉分野では人材が集まらず人手不足が続いている状況にも関わらず、国の基準を大幅に上回る職員を確保し、安定に運営することができた。今後は、職員の定着率を向上させ、各種会議・委員会・研修等を軌道に乗せ、入居者様にさらなるサービスの質の充実が求められる。